

明るく誰にも 地域に住む人の

再整備は 地域の声生かし

今年三月、表町二丁目にある駅前東公園が再整備され、新しくなりました。この自治会内には、ケヤキ並木をはさんで駅前西公園もあり、二つが同時にリニューアルされたのです。

どのような公園にするのかは地域に任せられ、市は白紙の図面だけを用意。地域の意見がまとまるのを待ちました。計四回の話し合いが行われたそうです。地域の皆さんは公園を利用するだけでなく、管理もしなくてはなりません。安全のため最近は大きくなった木の伐採を求める意見が多いとのこと。この公園もケヤキの大木二本を残すべ

て伐採。一方、駅前西公園は、夏休みのラジオ体操などの自治会行事で活用することを考え、広場を大きく取りました。

遊具も、予算の許す範囲で地域からの要望を採り入れたそうです。遊具の事故が全国的にも問題になりましたが、本市では日本公園施設業協会の「遊具の安全に関する基準」に基づき設置し、既存の遊具も定期的に点検。改修や撤去を行っています。

子どもたちの にぎわい戻る

新しくなった公園の盛況ぶりは目を見はるほど。色鮮やかな樹脂製の遊具は遠くからも目立ちます。つつそつとしていた巨木の代わりに低木が植えられ、

駅前東公園愛護会長を務める林昭治さんに、公園の再整備や清掃活動などについて、お聞きしました。

以前と比べてとても明るい雰囲気になりましたね。

西側奥にあった子ども用の遊具を、明るい東側の道沿いに移したんです。今は多くの子どもたちでとてもにぎやか。小枝を片付けるお母さんたちなど、みんなが協力してきれいに利用できるようにしました。

モラルを欠いた利用者もい

明るく開放的。子どもを連れたいお母さんだけでなく、お父さんおじいちゃん、おばあちゃんと遊ぶ姿も。また、散歩の途中、ひと休みする人や昼休みに休憩するサラリーマンも多く、子どもたちの元気な声が、自然と足を運ばせてくれるのでしょう。

さらに、きれいな水洗トイレには、男女別のほかに車いすの人やおむつ替えの人のために広い個室があり、誰にも利用しやすくなっています。

毎日、お孫さんと遊びに来ているという近所のお年寄りにお聞きすると、「整備されてから、子どもたちが集まりにぎやかで

るのではないですか。

木の枝を折ったり、トイレに落書きしたり。電灯のかさを投石で壊されたことも。こうした被害は公園緑地課へ連絡します。が、さくの補修など、自分たちでできることは愛護会の会員でやっています。

犬のふんもひどかったのですが、最近は公園に来た人や近所の人々が注意してくれるので、ほとんど見かけなくなりましたね。清掃活動はどのようにしているのでしょうか。

班ごとに交代で、月一回、日

す。トイレもきれいで、安心して利用できるの喜んでいきます」と、話してくれました。

これからも 計画的に整備

公園の再整備は、古い公園を中心に地域的な必要性も考え、市街地内の「前橋市緑化重点地区」から順次、着手していくとのこと。本年度は本町二丁目八幡宮公園、朝日町一号公園が対象です。地域の公園は近隣皆さんのための憩いの場。自分の住む地域の公園が整備されるときには、自治会の検討会に参加してはいかがでしょうか。

問い合わせは広報広聴課

890 6642へ

みんなが気持ちよく使えるように



駅前東公園愛護会長

林 昭治さん(74)

表町二丁目